

北大阪急行線延伸事業の 財源確保の完了時期を短縮！

北大阪急行線の延伸事業について、箕面市が負担する事業費の財源は、市債償還の費用を含めて、北大阪急行南北線延伸整備基金（北急延伸基金）と競艇事業の収益金のみで賅っています。

市では、令和3年度から専門委員による第三者評価制度を導入し、鉄道建設の経験・ノウハウがある外部有識者の指導や助言を得ながら施工方法などを見直して、事業費の抑制に努めています。

そして、**市負担分の財源確保完了時期については、競艇事業収益金が毎年6億円だった場合、令和32年度までの見込みでしたが、競艇事業の収益増加により、市議会の議決が得られれば令和8年度までに短縮できる見通しとなりました。**また、国及び府からの交付金・補助金も計画どおりに配分され、将来負担の財源確保は順調に進んでいます。



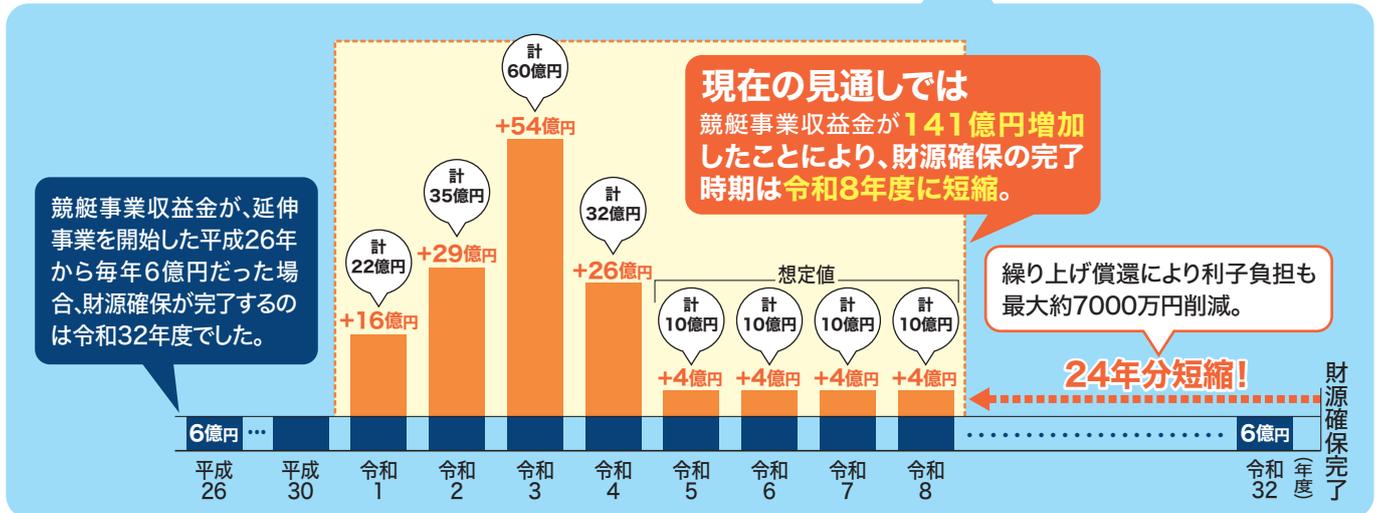
箕面萱野駅の完成イメージ

市負担分の事業費における財源確保の見通し

●北大阪急行線延伸事業における事業費負担の内訳（総事業費874億円）



市が負担する事業費の財源は、北急延伸基金と**競艇事業収益金**のみで確保します。



最新トピックス！ 北大阪急行線延伸線は令和5年度末の開業に向けて着実に進行中！

新駅「箕面船場阪大前駅」を初公開！

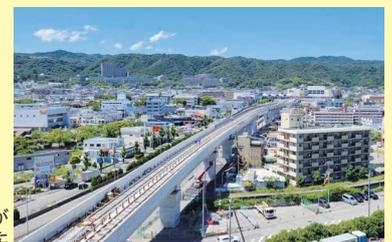
高架橋やトンネルなどを構築する土木工事がおおむね完了し、軌道や電気設備・駅舎関連工事なども順調に進んでいることを受けて、8月25日（木）に地下駅となる「箕面船場阪大前駅」を報道機関に初公開しました。これに合わせて、北大阪急行線延伸線の開業時期を「令和5（2023）年度末」とすることも公表しました。



「箕面船場阪大前駅」の報道公開の様子

高架橋などの工事を予算内で完了！

国道423号の側道と千里川や住宅地に近接する狭い作業ヤードという厳しい施工条件に加え、社会情勢の変動による人件費・資材単価の上昇が重なりましたが、専門委員による第三者評価制度を導入し、施工方法などを見直して事業費の抑制に努めました。その結果、8月末には、高架橋などの土木構造物の工事を予算内で完了させることができました。



8月末に全ての高架橋が完成しました

北大阪急行線の延伸工事について、詳しくは市ホームページ（QRコードからアクセス）をご覧ください。

